

救急救助統計

～令和7年～



総務省消防庁より配備された救助先行1号車



延岡市消防本部

目 次

I 救 急 編

第1章 令和7年の救急活動概要(救急出場件数と搬送人員)	1
第2章 令和7年の救急活動状況	4
1 事故種別の救急出場件数及び搬送人員	4
(1) 事故種別の救急出場件数及び搬送人員	4
(2) 事故種別の出場件数の推移	5
(3) 事故種別の傷病程度別搬送人員	6
(4) 事故種別(急病)の疾病分類別の年齢区分と傷病程度	7
① 急病における疾病分類別の年齢区分別搬送人員	7
② 急病における疾病分類別の傷病程度別搬送人員	8
2 年齢区分別の搬送人員	9
(1) 年齢区分別の搬送人員(対前年比)	9
(2) 年齢区分別の傷病程度別搬送人員	9
(3) 年齢区分別の事故種別搬送人員	10
(4) 高齢者(満65歳以上の者)の搬送状況	10
3 傷病程度別の搬送人員	11
(1) 傷病程度別の事故種別搬送人員	11
(2) 傷病程度別の年齢区分別搬送人員	11
4 地区別の救急出場件数及び搬送人員	12
(1) 地区別の事故種別出場件数	12
(2) 地区別の傷病程度別搬送人員	12
(3) 地区別の救急出場件数	13
5 月別・曜日別、時刻別の救急出場件数及び搬送人員	14
(1) 月別の救急出場件数	14
(2) 曜日別の救急出場件数	14
(3) 時間帯別の事故種別救急出場件数	15
(4) 休日夜間活動状況	16
6 救急活動の内容	17
(1) 救急隊員の行った応急処置	17
7 応急手当の普及啓発	18
(1) 応急手当講習の実施状況	18
(2) 救急蘇生統計	18

8 医療機関等への搬送状況	19
(1) 医療機関別搬送状況	19
(2) 診療科別搬送人員	19
(3) 病院別搬送人員	20
(4) 不搬送の原因別出場状況	21
(5) 病院間合せ平均回数	21
(6) 救急支援(PA連携)出場状況	21
(7) ドクターヘリ活動状況	22
(8) ドクターカー活動状況	23

Ⅱ 救 助 編

第3章 令和7年の救助活動概要	24
第4章 令和7年の救助活動状況	24
1 事故種別ごとの救助出場件数及び救助人員	24
2 月別の救助出場件数	25
3 曜日別の救助出場件数	25
4 地区別の事故種別救助出場件数	26
5 年齢別の要救助者数	26

第1章 令和7年の救急活動概要

令和7年中の救急活動状況は、出場件数は6,666件(対前年比31件減)、搬送人員は5,559人(対前年比50人減)で救急出動件数、搬送人員ともに減少となりました。延岡市は平均すると、1日約18件の出場、約15人の搬送となります。そのうち、65歳以上の高齢者の搬送人員は3,948人で、全体の71%を占めています。

このような現状の中、心肺停止状態で医療機関に搬送された傷病者は127名で、そのうち3名が社会復帰をされています。

また、消防本部では119番通報時に目撃のある心肺停止傷病者、重症傷病者に対し、早期の胸骨圧迫や除細動(AED)などの口頭指導を実施しております。さらに、令和6年12月より、119番映像通報システムを導入し、口頭指導の充実を図っています。また、一般市民に対して救命講習を開催しており、令和7年は、救命講習を194回・3,541人に実施しました。

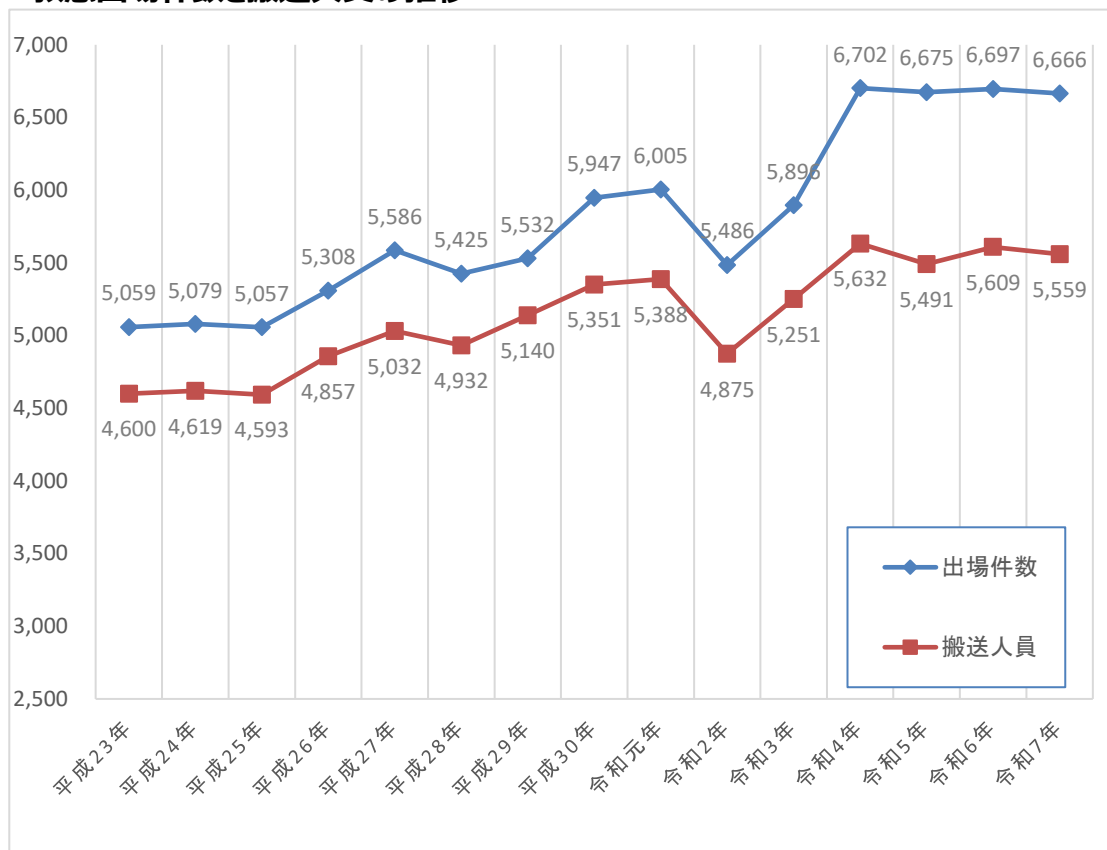
CPA(心肺停止)や高層階、繁華街事案など救急隊のみでは活動困難な場合に、救急車と共に消防車等が出場するPA連携は、898件となっており、特にCPA事案のPA連携は442件の出場となっています。直近の消防隊が、いち早く傷病者へ接触して観察を行い、適切な応急処置による救命率の向上など、より良い市民サービスを提供することができます。また、救急現場のマンパワー充実により、これまで以上に安全かつ確実な活動が可能となり、より早く医療機関へ搬送することができます。

令和7年の延岡市管轄内における宮崎県立延岡病院の救急車型ドクターカーの要請件数は104件、出場件数は98件となっています。ドクターカーは、医師の搭乗の他、高度な医療資器材を積載しており、早期の医療介入が可能となり、検査治療を行いながら病院へ搬送することができます。傷病者の救命、そして社会復帰を目指した活動のため、医療機関と連携しながら活動を実施しています。

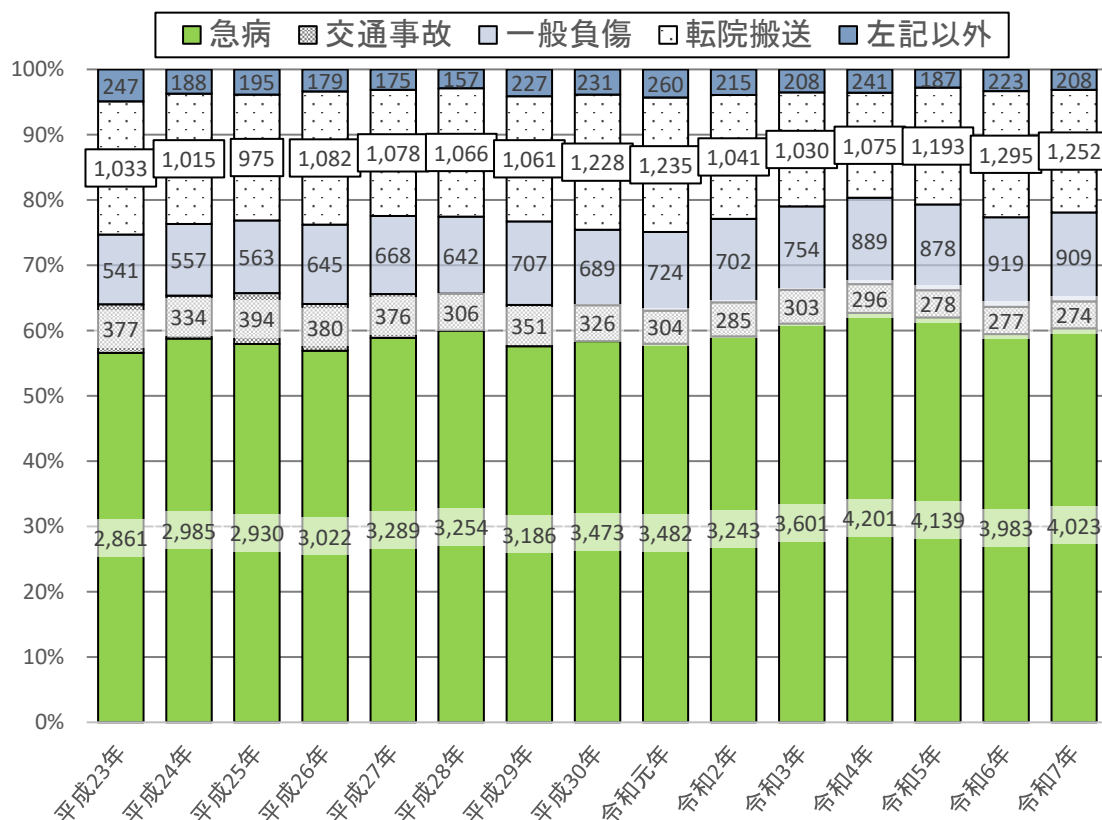
令和7年の救急出場件数と搬送人員

		出 場 件 数			搬 送 人 員		
		令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数
火 災		10	24	▲ 14	2	2	0
自 然 災 害		0	5	▲ 5	0	1	▲ 1
水 難 事 故		7	9	▲ 2	1	4	▲ 3
交 通 事 故		274	277	▲ 3	219	224	▲ 5
労 働 災 害		55	57	▲ 2	51	55	▲ 4
運 動 競 技		40	43	▲ 3	38	42	▲ 4
一 般 負 傷		909	919	▲ 10	744	762	▲ 18
加 害		22	25	▲ 3	15	17	▲ 2
自 損 行 為		48	43	5	27	26	1
急 病		4,023	3,983	40	3,213	3,183	30
そ の 他	転 院 搬 送	1,252	1,295	▲ 43	1,249	1,292	▲ 43
	医 師 搬 送	0	3	▲ 3	0	0	0
	資 器 材 搬 送	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	26	14	12	0	1	▲ 1
計		6,666	6,697	▲ 31	5,559	5,609	▲ 50

救急出場件数と搬送人員の推移



事故種別の救急出場件数と構成比の推移

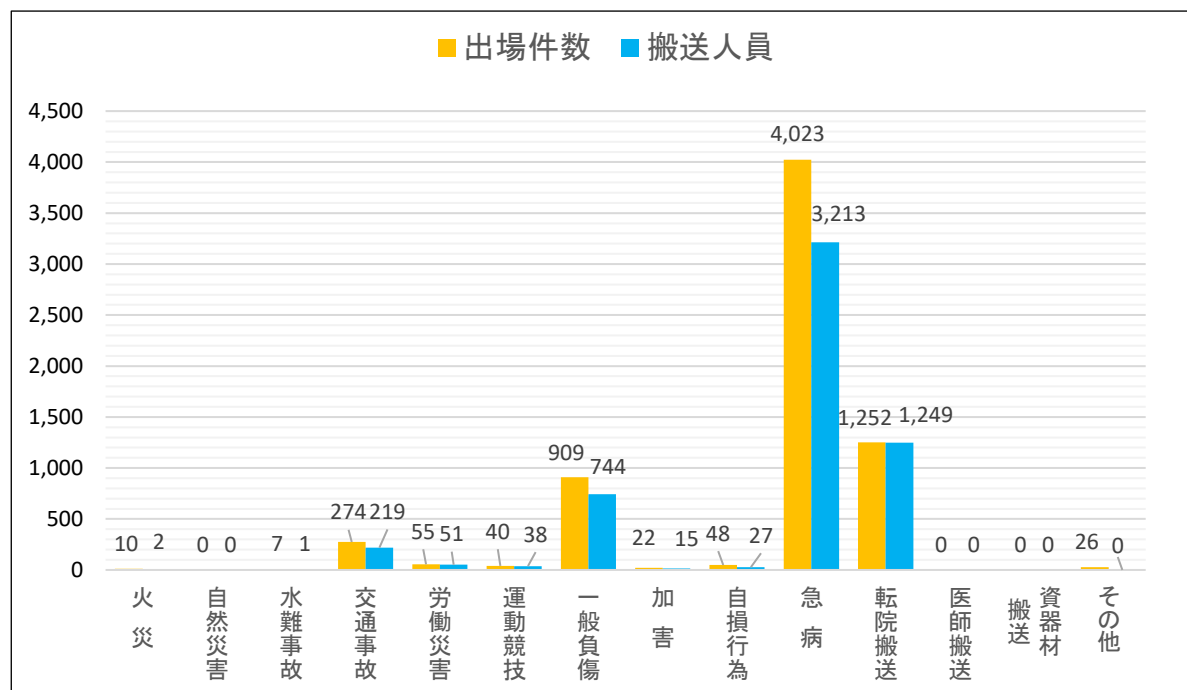


事故種別で見た出場件数では、急病が大半を占め4023件(全体の60%)となっており、前年の3,983件(59%)より40件増加しています。次いで、転院搬送が1252件(全体の18%)で、前年より43件減少しました。

また、一般負傷が909件(全体の13%)で、前年より10件の減少、交通事故が274件で3件の減少、労働災害が55件で3件の減少となっています。

市北部を管轄とする延岡北救急隊の出場件数は、1,414件(全体の21%)となり、前年の1,402件から12件増加しました。市南部管轄の延岡南救急隊は、1,532件(全体の22%)となり、前年の1571件から39件減少しました。

事故種別の救急出場件数と搬送人員



管内における救急出動件数の内訳

	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	搬送	資器材	その他	計
出場件数	10	0	7	274	55	40	909	22	48	4,023	1,252	0	0	0	26	6,666
本署	6	0	4	155	27	21	505	17	30	2,116	822	0	0	0	17	3,720
北分署	2	0	3	57	21	12	188	1	7	922	196	0	0	0	5	1,414
南分署	2	0	0	62	7	7	216	4	11	985	234	0	0	0	4	1,532
搬送人員	2	0	1	219	51	38	744	15	27	3,213	1,249	0	0	0	0	5,559
本署	0	0	0	119	24	20	412	13	18	1,670	818	0	0	0	0	3,094
北分署	2	0	1	49	20	12	163	0	4	806	196	0	0	0	0	1,253
南分署	0	0	0	51	7	6	169	2	5	740	235	0	0	0	0	1,215

第2章 令和7年の救急活動状況

1 事故種別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 事故種別の救急出場件数及び搬送人員

事故種別の救急出場件 (対前年比)

(単位：件)

事故種別		令和7年		令和6年		対前年比	
		出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
火	災	10	0.2	24	0.4	▲ 14	▲ 58.3
自	然 災 害	0	0.0	5	0.1	▲ 5	▲ 100.0
水	難 事 故	7	0.1	9	0.1	▲ 2	▲ 22.2
交	通 事 故	274	4.1	277	4.2	▲ 3	▲ 1.1
労	働 災 害	55	0.8	57	0.9	▲ 2	▲ 3.5
運	動 競 技	40	0.6	43	0.6	▲ 3	▲ 7.0
一	般 負 傷	909	13.6	919	13.8	▲ 10	▲ 1.1
加	害	22	0.3	25	0.4	▲ 3	▲ 12.0
自	損 行 為	48	0.7	43	0.6	5	11.6
急	病	4,023	60.4	3,983	59.8	40	1.0
そ の 他	転 院 搬 送	1,252	18.8	1,295	19.4	▲ 43	▲ 3.3
	医 師 搬 送	0	0.0	3	0.0	▲ 3	
	資 器 材 搬 送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	そ の 他	26	0.4	14	0.2	12	85.7
計		6,666	100	6,697	100	▲ 31	▲ 0.46

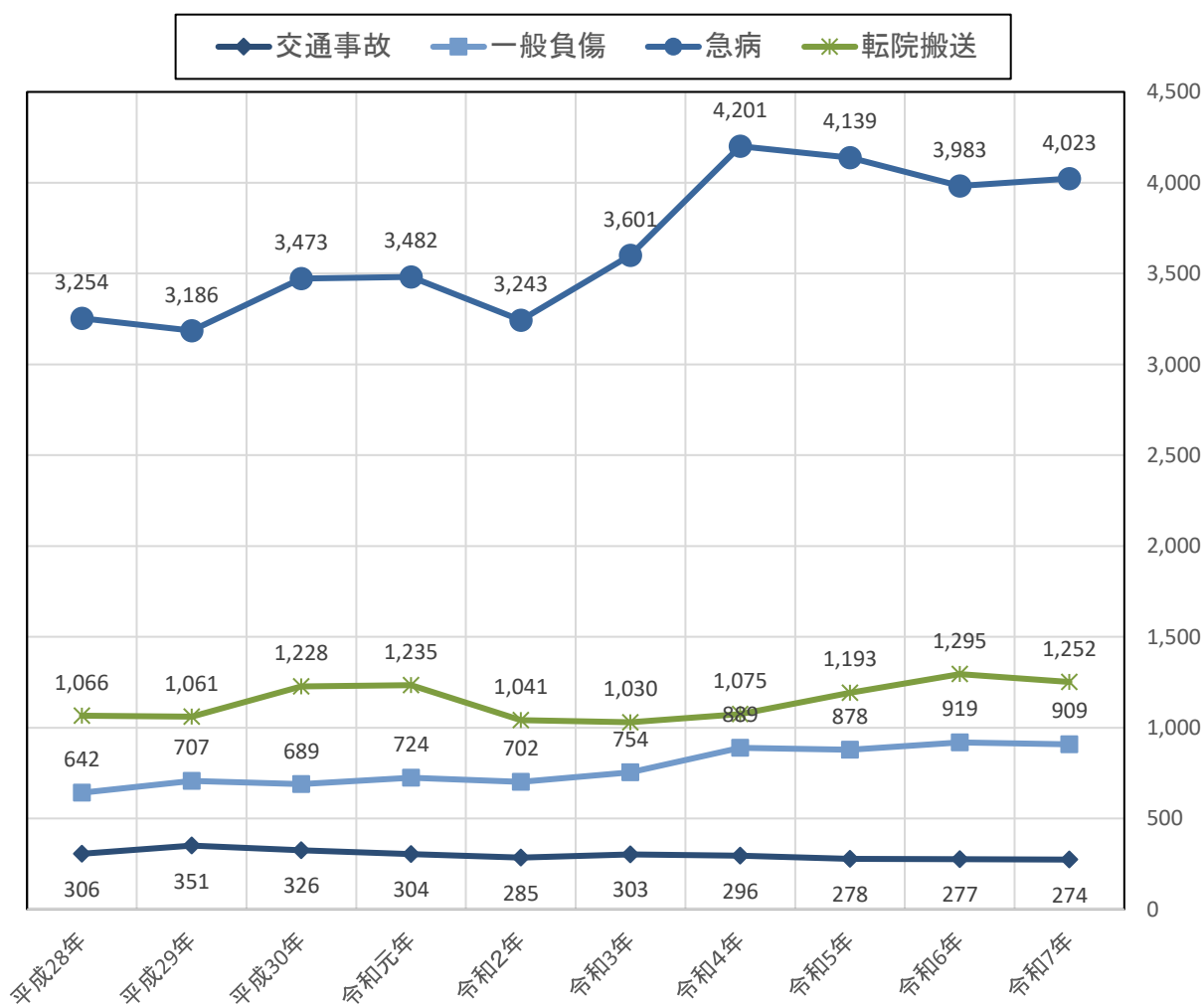
事故種別の搬送人員 (対前年比)

(単位：件)

事故種別		令和7年		令和6年		対前年比	
		搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
火	災	2	0.0	2	0.0	0	0.0
自	然 災 害	0	0.0	1	0.0	▲ 1	▲ 100.0
水	難 事 故	1	0.0	4	0.1	▲ 3	0.0
交	通 事 故	219	3.9	224	4.0	▲ 5	▲ 2.2
労	働 災 害	51	0.9	55	1.0	▲ 4	▲ 7.3
運	動 競 技	38	0.7	42	0.8	▲ 4	▲ 9.5
一	般 負 傷	744	13.4	762	13.7	▲ 18	▲ 2.4
加	害	15	0.3	17	0.3	▲ 2	▲ 11.8
自	損 行 為	27	0.5	26	0.5	1	3.8
急	病	3,213	57.8	3,183	57.3	30	0.9
そ の 他	転 院 搬 送	1,249	22.5	1,292	23.2	▲ 43	▲ 3.3
	医 師 搬 送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	資 器 材 搬 送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	そ の 他	0	0.0	1	0.0	▲ 1	▲ 100.0
計		5,559	100	5,609	101	▲ 50	▲ 0.89

(2) 事故種別の出場件数の推移

		出 場 件 数									
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和 2 年	令和3年	令和 4 年	令和5年	令和6年	令和7年
出場件数		5,425	5,532	5,947	6,005	5,486	5,896	6,702	6,675	6,697	6,666
火 災		21	25	25	25	24	19	37	24	24	10
自 然 災 害		2	5	3	5	3	4	5	2	5	0
水 難 事 故		8	3	5	7	4	3	7	2	9	7
交 通 事 故		306	351	326	304	285	303	296	278	277	274
労 働 災 害		22	45	43	39	39	43	51	44	57	55
運 動 競 技		28	45	32	41	29	26	31	34	43	40
一 般 負 傷		642	707	689	724	702	754	889	878	919	909
加 害		19	23	17	12	13	17	16	8	25	22
自 損 行 為		41	46	48	54	42	44	60	53	43	48
急 病		3,254	3,186	3,473	3,482	3,243	3,601	4,201	4,139	3,983	4,023
そ の 他	転 院 搬 送	1,066	1,061	1,228	1,235	1,041	1,030	1,075	1,193	1,295	1,252
	医 師 搬 送	0	0	26	45	47	19	1	0	3	0
	資 器 材 搬 送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	16	35	32	32	14	33	33	20	14	26



(3) 事故種別の傷病程度別搬送人員

搬送人員の多い急病、交通事故、一般負傷の傷病程度割合

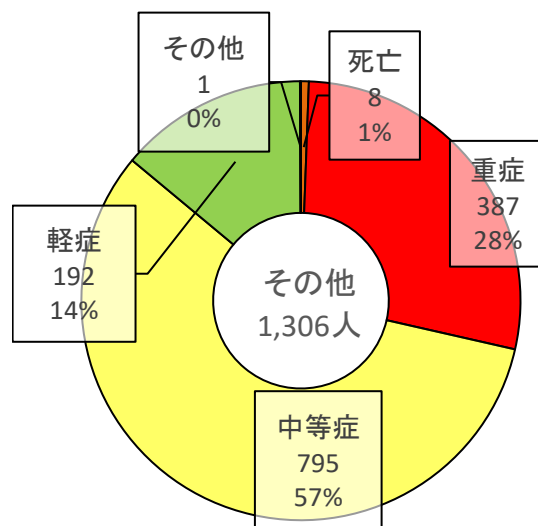
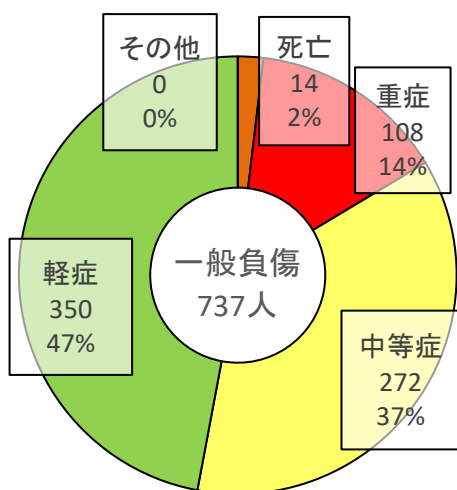
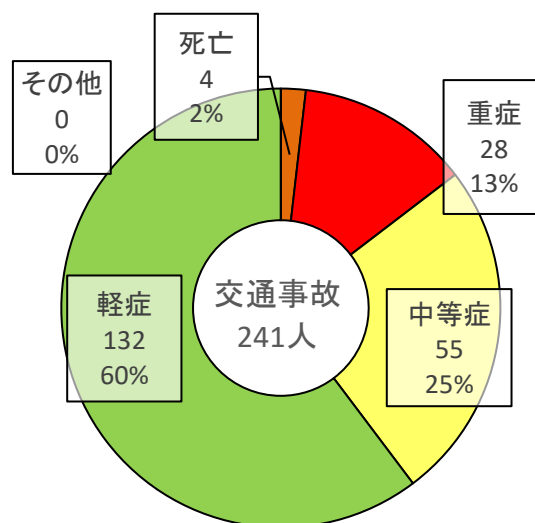
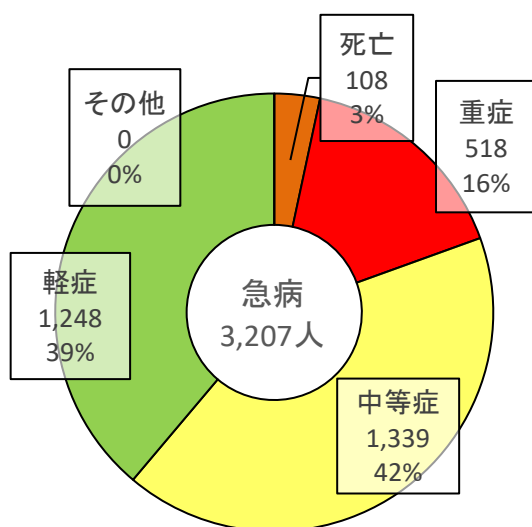
	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
急 病	108	518	1,339	1,248	0	3,213
交通事故	4	28	55	132	0	219
一般負傷	14	108	272	350	0	744
そ の 他	8	387	795	192	1	1,383
計	134	1,041	2,461	1,922	1	5,559

死 亡 : 初診時に死亡が確認された者

重 症 : 3週間以上の入院が必要な者

中等症 : 3週間未満の入院が必要な者

軽 症 : 入院の必要がない者



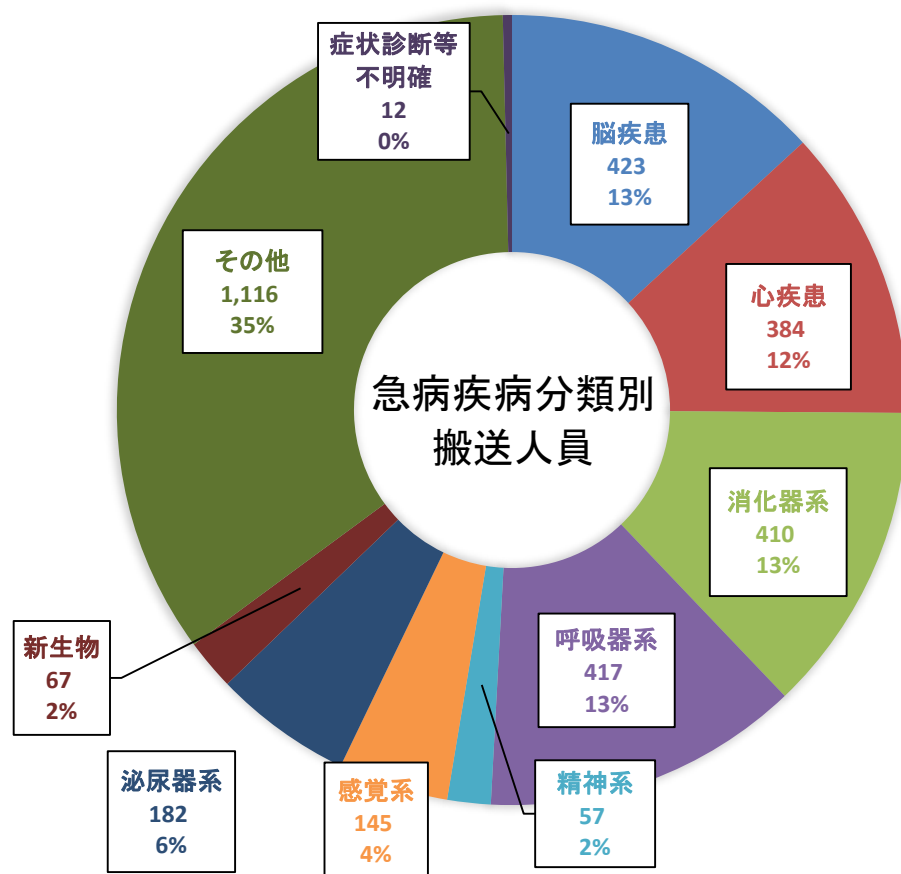
(4) 事故種別（急病）の疾病分類と年齢区分の搬送人員

①急病における疾病分類別の年齢区分別搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計	構成比
脳疾患	0	1	0	74	348	423	13.2%
心疾患	0	1	0	63	320	384	12.0%
消化器系	0	2	5	131	272	410	12.8%
呼吸器系	0	10	7	63	337	417	13.0%
精神系	0	0	2	35	20	57	1.8%
感覚系	0	4	10	48	83	145	4.5%
泌尿器系	0	0	1	66	115	182	5.7%
新生物	0	0	0	11	56	67	2.1%
その他	1	82	31	229	773	1,116	34.7%
症状診断等不明確	0	1	1	2	8	12	0.4%
計	1	101	57	722	2,332	3,213	100%

※注:年齢区分は、次により分類する。

- (1)新生児：生後28日未満の者
- (2)乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3)少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4)成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5)高齢者：満65歳以上の者

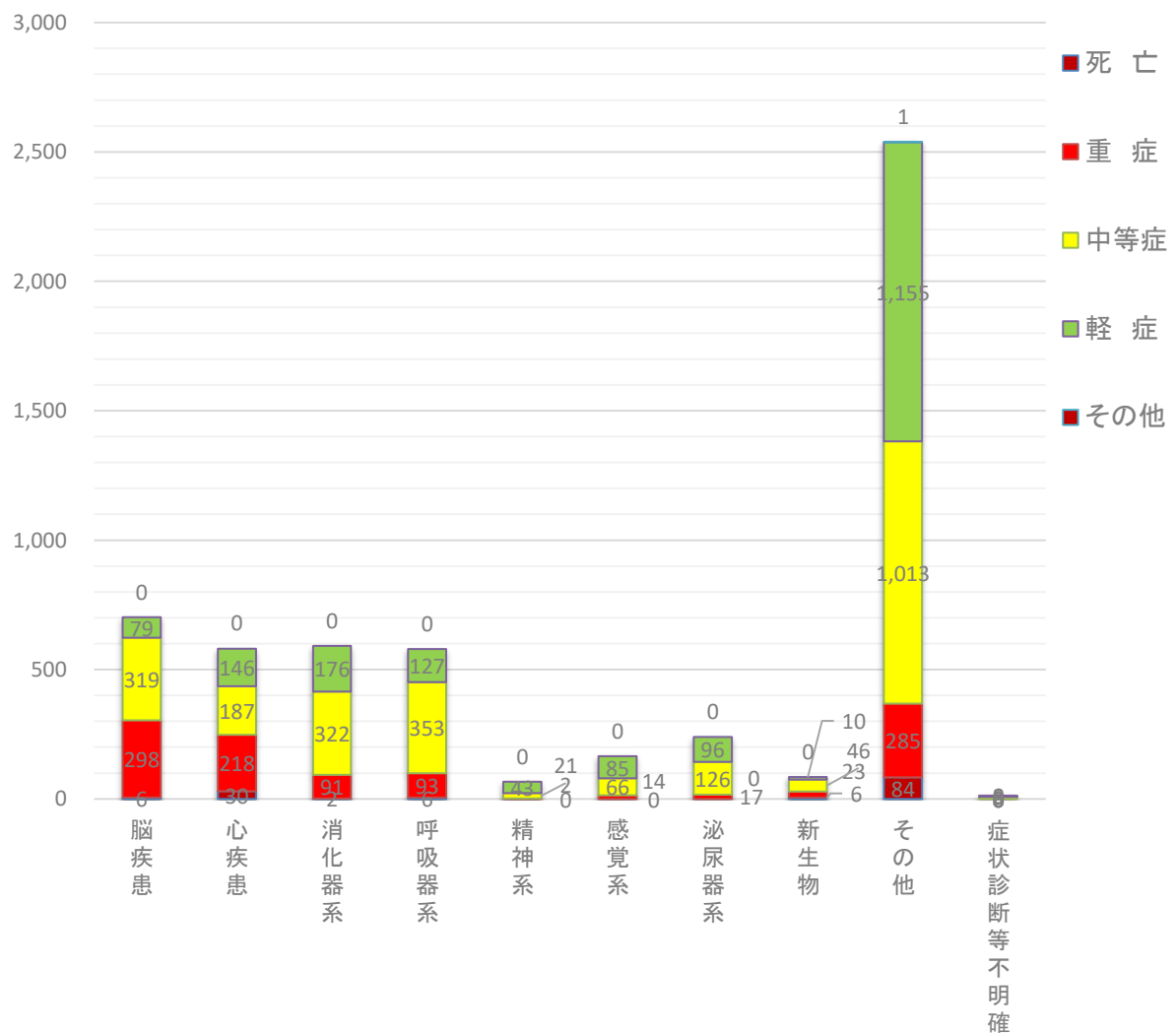


※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため合計が100%にならない場合がある。

② 急病における疾病分類別の傷病程度別搬送人員

	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計	構成比
脳 疾 患	6	298	319	79	0	702	12.6%
心 疾 患	30	218	187	146	0	581	10.5%
消 化 器 系	2	91	322	176	0	591	10.6%
呼 吸 器 系	6	93	353	127	0	579	10.4%
精 神 系	0	2	21	43	0	66	1.2%
感 覚 系	0	14	66	85	0	165	3.0%
泌 尿 器 系	0	17	126	96	0	239	4.3%
新 生 物	6	23	46	10	0	85	1.5%
そ の 他	84	285	1,013	1,155	1	2,538	45.7%
症 状 診 断 等 不 明 確	0	0	8	5	0	13	0.2%
計	134	1,041	2,461	1,922	1	5,559	

※脳疾患においては、中等症以上の患者の割合が高くなっている。



2 年齢区分別の搬送人員

(1) 年齢区分別の搬送人員（対前年比）

	令和7年		令和6年		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
新 生 児	36	0.6	29	0.5	7	24.1
乳 幼 児	144	2.6	149	2.7	▲ 5	▲ 3.4
少 年	148	2.7	160	2.9	▲ 12	▲ 7.5
成 人	1,283	23.1	1,254	22.6	29	2.3
高 齢 者	3,948	71.0	4,017	72.3	▲ 69	▲ 1.7
計	5,559	100	5,609	101	▲ 50	▲ 0.9

(注) 年齢区分は、次により分類する。

- (1) 新 生 児 : 生後28日未満の者
- (2) 乳 幼 児 : 生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少 年 : 満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成 人 : 満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高 齢 者 : 満65歳以上の者

(2) 年齢区分別の傷病程度別搬送人員

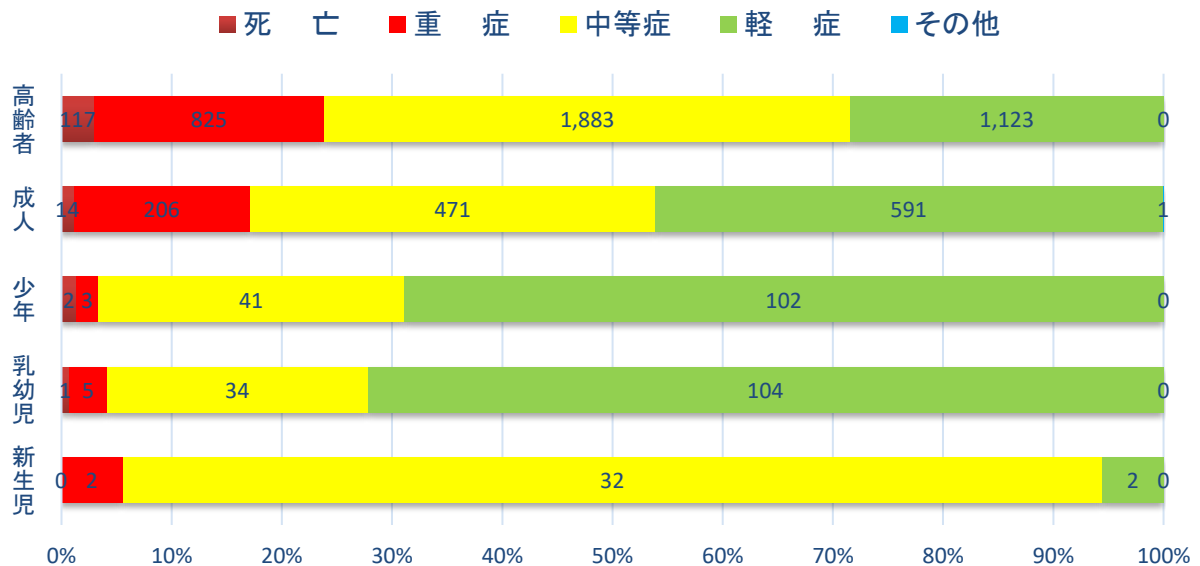
	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
新 生 児	0	2	32	2	0	36
乳 幼 児	1	5	34	104	0	144
少 年	2	3	41	102	0	148
成 人	14	206	471	591	1	1,283
高 齢 者	117	825	1,883	1,123	0	3,948
計	134	1,041	2,461	1,922	1	5,559

死 亡 : 初診時に死亡が確認された者

重 症 : 3週間以上の入院が必要な者

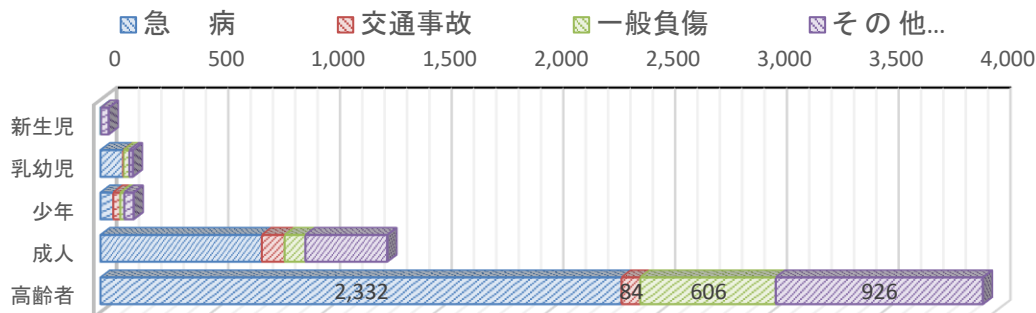
中 等 症 : 3週間未満の入院が必要な者

軽 症 : 入院の必要がない者



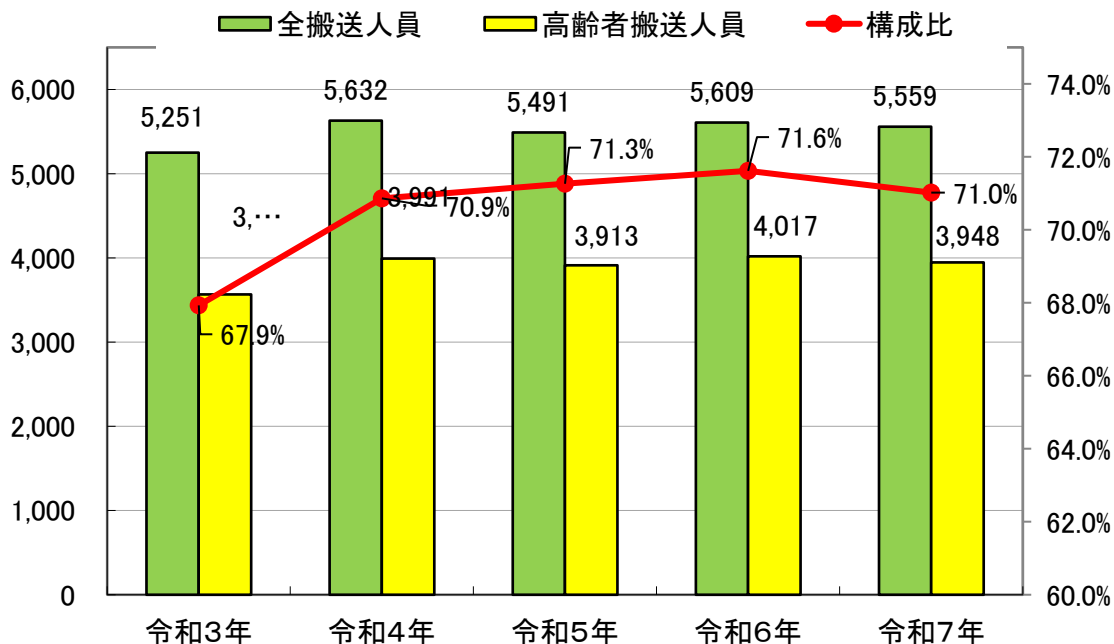
(3) 年齢区分別の事故種別搬送人員

	急 病	交通事故	一般負傷	その 他 (左記以外)	計
新 生 児	1	0	1	34	36
乳 幼 児	101	2	26	15	144
少 年	57	31	18	42	148
成 人	722	102	93	366	1,283
高 齢 者	2,332	84	606	926	3,948
計	3,213	219	744	1,383	5,559



(4) 高齢者（満65歳以上の者）の搬送人員の推移

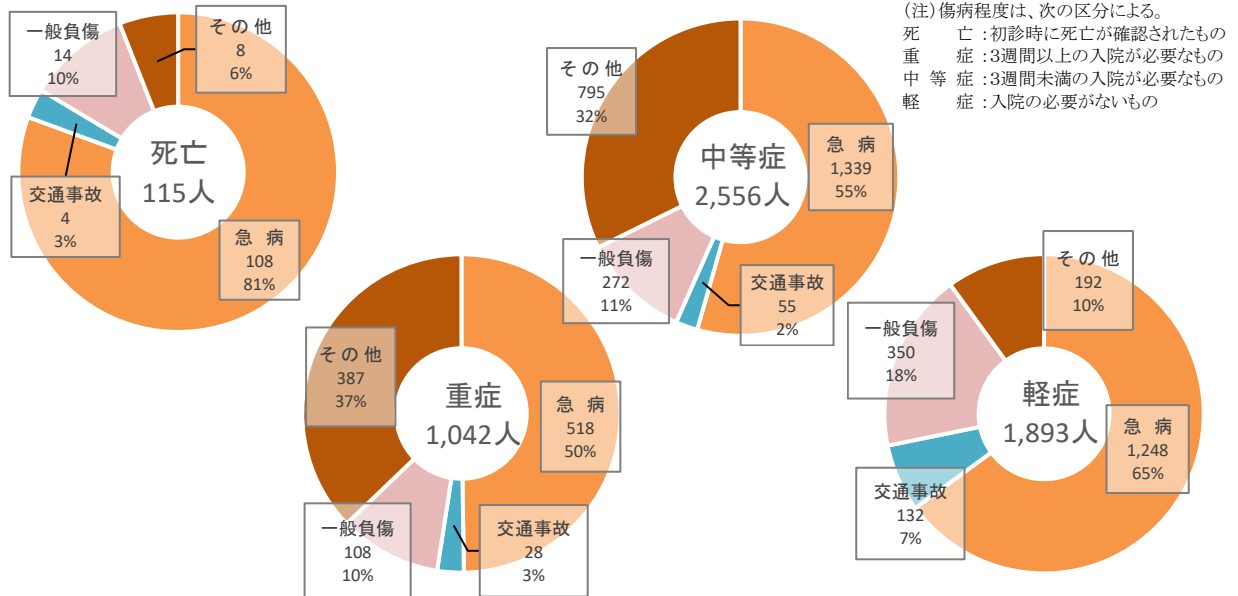
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
全 搬 送 人 員	5,251	5,632	5,491	5,609	5,559
高齢者搬送人員	3,567	3,991	3,913	4,017	3,948
構 成 比	67.9%	70.9%	71.3%	71.6%	71.0%



3 傷病程度別の搬送人員

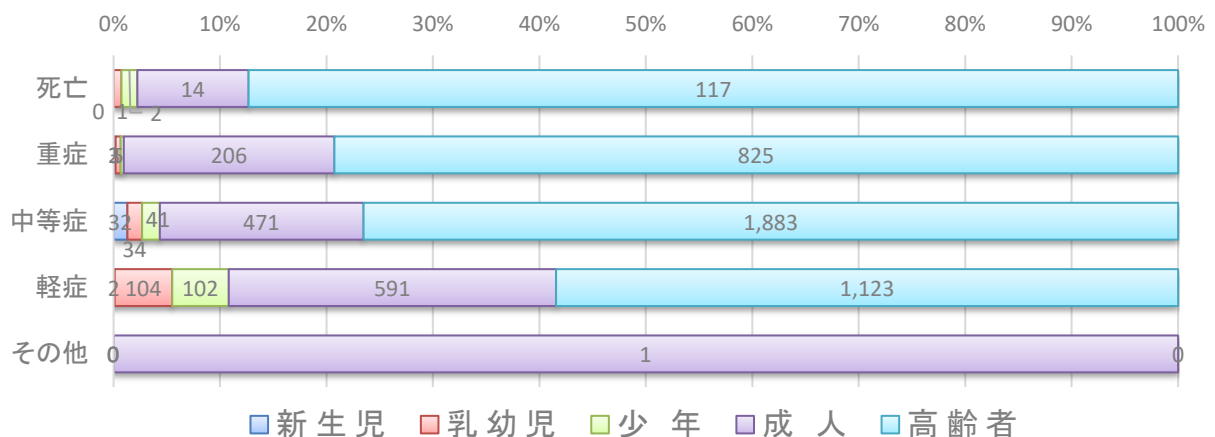
(1) 傷病程度別の事故種別搬送人員

	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計	構 成 比
死 亡	108	4	14	8	134	2.4%
重 症	518	28	108	387	1,041	18.7%
中 等 症	1,339	55	272	795	2,461	44.3%
軽 症	1,248	132	350	192	1,922	34.6%
そ の 他	0	0	0	1	1	0.1%
計	3,213	219	744	1,383	5,559	



(2) 傷病程度別の年齢区分別搬送人員

	新生児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	計	構 成 比
死 亡	0	1	2	14	117	134	2.4%
重 症	2	5	3	206	825	1,041	18.7%
中 等 症	32	34	41	471	1,883	2,461	44.3%
軽 症	2	104	102	591	1,123	1,922	34.6%
そ の 他	0	0	0	1	0	1	0.0%
計	36	144	148	1,283	3,948	5,559	100%



4 地区別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 地区別の事故種別出場件数

		延岡市				自動車 専用道路 (高速道路も含む)	その他	計	
		延岡	北方	北川	北浦				
事故 種別	火災	9	0	0	1	0	0	10	
	自然災害	0	0	0	0	0	0	0	
	水難事故	4	1	1	1	0	0	7	
	交通事故	238	11	7	3	15	0	274	
	労働災害	45	2	4	4	0	0	55	
	運動競技	33	3	1	3	0	0	40	
	一般負傷	830	37	18	24	0	0	909	
	加害	20	0	0	2	0	0	22	
	自損行為	41	4	2	1	0	0	48	
	急病	3,696	110	114	101	2	0	4,023	
	その他	転院搬送	1,226	10	1	15	0	0	1,252
		医師搬送	0	0	0	0	0	0	0
		資器材搬送	0	0	0	0	0	0	0
		その他	25	1	0	0	0	0	26
計		6,167	179	148	155	17	0	6,666	

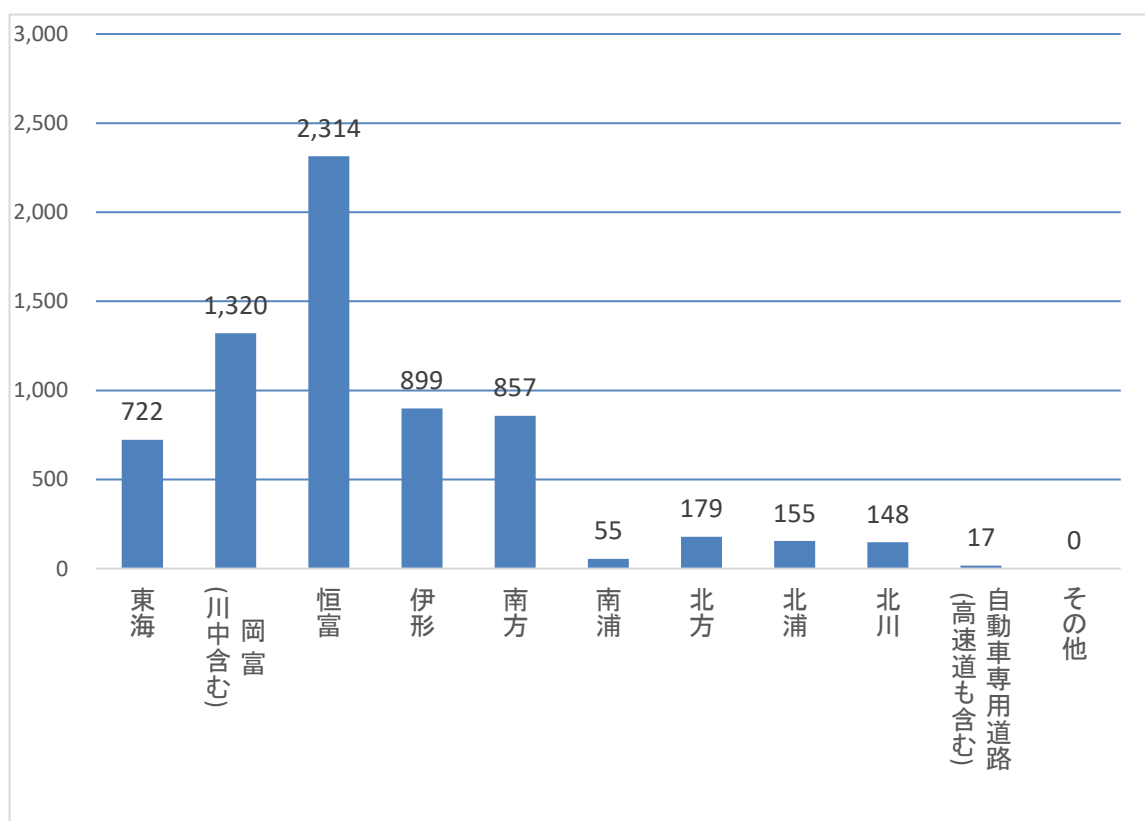
(2) 地区別の傷病程度別搬送人員

		延岡市				自動車 専用道路 (高速道路も含む)	その他	計
		延岡	北方	北川	北浦			
出場件数		6,167	179	148	155	17	0	6,666
搬送件数		5,114	152	133	135	12		5,546
不搬送件数		1,053	27	15	20	5	0	1,120
医師搬送・資機材搬送		0	0	0	0	0	0	0
搬送人員		5,123	154	134	135	13	0	5,559
傷病程度	死亡	120	3	4	7	0	0	134
	重症	961	28	27	25	0	0	1,041
	中等症	2,265	71	62	58	6	0	2,462
	軽症	1,777	52	40	45	7	0	1,921
	その他	0	0	1	0	0	0	1

(注) 傷病程度で「その他」は、その他の場所に搬送した者。(主に防災ヘリ搬送となります。)

(3) 地区別の救急出場件数

	東海	(川中岡富含む)	恒富	伊形	南方	南浦	北方	北浦	北川	(自動車専用道路 高速道も含む)	その他	合計
令和7年	722	1,320	2,314	899	857	55	179	155	148	17	0	6,666
	10.8%	19.8%	34.7%	13.5%	12.9%	0.8%	2.7%	2.3%	2.2%	0.3%	0.0%	100%
令和6年	718	1,319	2,339	882	838	70	173	147	189	22	0	6,697
	10.7%	19.7%	34.9%	13.2%	12.5%	1.0%	2.6%	2.2%	2.8%	0.3%	0.0%	100%
令和5年	763	1,280	2,331	891	803	64	209	146	171	16	1	6,675
	11.4%	19.2%	34.9%	13.3%	12.0%	1.0%	3.1%	2.2%	2.6%	0.2%	0.0%	100%
令和4年	780	1,265	2,214	890	865	65	193	208	205	17	0	6,702
	11.6%	18.9%	33.0%	13.3%	12.9%	1.0%	2.9%	3.1%	3.1%	0.3%	0.0%	100%
令和3年	659	1,104	2,011	809	750	55	149	162	184	13	0	5,896
	11.2%	18.7%	34.1%	13.7%	12.7%	0.9%	2.5%	2.7%	3.1%	0.2%	0.0%	100%



5 月別・曜日別、時刻別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 月別の救急出場件数

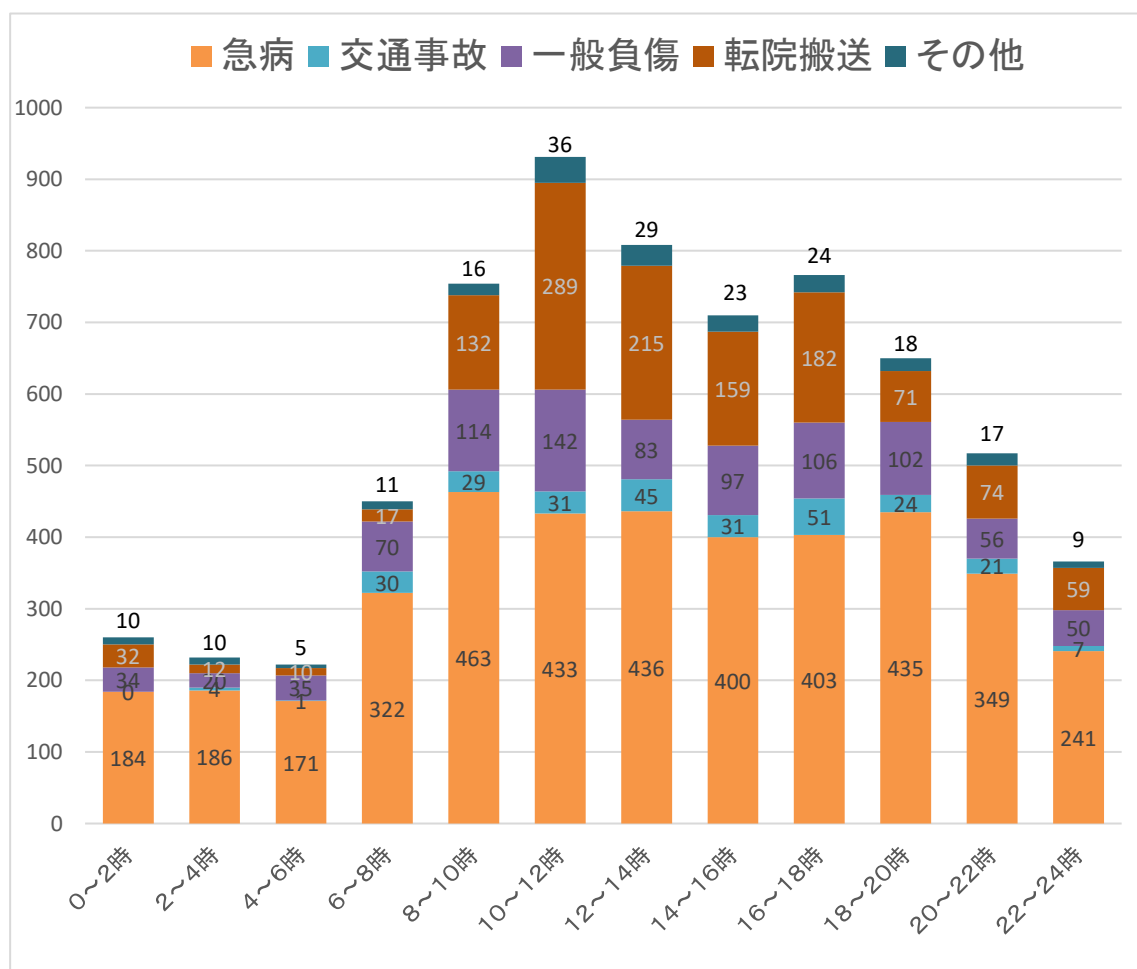
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	計
1月	1	0	0	18	2	0	79	1	8	460	137	0	2	708
2月	1	0	0	14	6	1	85	2	2	278	102	0	1	492
3月	1	0	2	21	3	1	84	2	4	351	98	0	2	569
4月	0	0	1	35	0	5	69	3	2	319	94	0	0	528
5月	0	0	0	16	5	2	77	3	8	270	108	0	1	490
6月	1	0	1	33	5	6	64	2	4	315	116	0	2	549
7月	1	0	1	20	8	8	68	1	1	325	100	0	5	538
8月	0	0	0	23	7	4	90	4	7	394	99	0	2	630
9月	0	0	0	21	7	8	63	0	2	335	102	0	3	541
10月	1	0	0	27	6	3	70	1	2	309	94	0	3	516
11月	3	0	2	19	2	1	67	0	5	322	107	0	3	531
12月	1	0	0	27	4	1	93	3	3	345	95	0	2	574
計	10	0	7	274	55	40	909	22	48	4,023	1,252	0	26	6,666

(2) 曜日別の救急出場件数

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	計
月 曜	0	0	2	45	12	5	133	4	9	656	232	0	1	1,099
火 曜	1	0	0	43	13	6	122	2	4	549	188	0	2	930
水 曜	2	0	1	47	7	3	134	1	10	577	168	0	4	954
木 曜	2	0	1	34	8	6	128	3	12	532	180	0	6	912
金 曜	0	0	1	34	8	3	120	0	7	543	216	0	2	934
土 曜	3	0	1	36	4	9	120	2	4	582	170	0	6	937
日 曜	2	0	1	35	3	8	152	10	2	584	98	0	5	900
計	10	0	7	274	55	40	909	22	48	4,023	1,252	0	26	6,666

(3) 時間帯別の事故種別救急出場件数

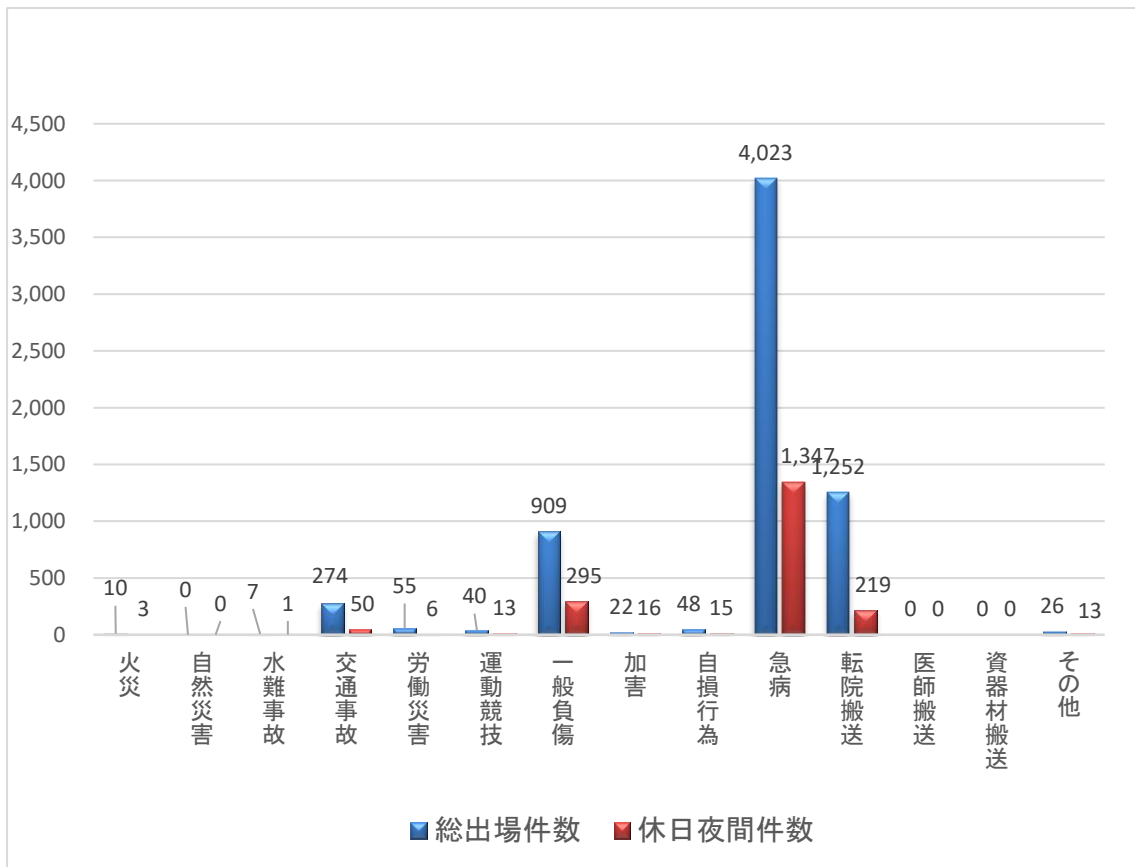
	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他	計
0～2時	184	0	34	32	10	260
2～4時	186	4	20	12	10	232
4～6時	171	1	35	10	5	222
6～8時	322	30	70	17	11	450
8～10時	463	29	114	132	16	754
10～12時	433	31	142	289	36	931
12～14時	436	45	83	215	29	808
14～16時	400	31	97	159	23	710
16～18時	403	51	106	182	24	766
18～20時	435	24	102	71	18	650
20～22時	349	21	56	74	17	517
22～24時	241	7	50	59	9	366
計	4,023	274	909	1,252	208	6,666



(3) 休日の活動状況

		出 場 件 数			搬 送 人 員		
		総 件 数	休日夜間件数	構成比	総 人 員	休日夜間件数	構成比
計		6,666	1,978	29.67%	5,559	1,536	27.63%
火 災		10	3	0.05%	2	1	0.02%
自 然 災 害		0	0	0.00%	0	0	0.00%
水 難 事 故		7	1	0.02%	1	0	0.00%
交 通 事 故		274	50	0.75%	219	42	0.76%
労 働 災 害		55	6	0.09%	51	4	0.07%
運 動 競 技		40	13	0.20%	38	13	0.23%
一 般 負 傷		909	295	4.43%	744	219	3.94%
加 害		22	16	0.24%	15	11	0.20%
自 損 行 為		48	15	0.23%	27	10	0.18%
急 病		4,023	1,347	20.21%	3,213	1,019	18.33%
そ の 他	転院搬送	1,252	219	3.29%	1,249	217	3.90%
	医師搬送	0	0	0.00%	0	0	0.00%
	資器材搬送	0	0	0.00%	0	0	0.00%
	そ の 他	26	13	0.20%	0	0	0.00%

休日とは、土曜、日曜、祝日の全時間帯をいう。



6 救急活動の内容

(1) 救急隊員の行った応急処置(医療機関等へ搬送するまでの処置)

	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計
対 象 人 員	3,213	219	743	1,375	5,550
止 血	4	2	42	7	55
固 定	16	116	113	30	275
人 工 呼 吸	32	1	0	5	38
胸 骨 圧 迫	3	0	0	0	3
心 肺 蘇 生	187	5	26	11	229
酸 素 吸 入	739	27	46	326	1,138
気 道 確 保	155	5	18	14	192
経鼻エアウェイ	2	0	0	0	2
喉頭鏡	57	1	11	1	70
☆ラリングアルマスク等	15	0	2	2	19
☆気管挿管	40	1	8	1	50
保 温	39	6	9	14	68
被 覆	19	44	148	31	242
在 宅 療 法	276	3	26	100	405
☆ 除 細 動	12	0	0	0	12
☆ 薬 剤 投 与	53	1	7	1	62
☆心肺停止前の静脈路確保	9	3	2	0	14
☆心肺停止後の静脈路確保	53	1	8	1	63
☆ 血 糖 測 定	57	1	1	1	60
☆ ブ ド ウ 糖 投 与	9	0	0	0	9
☆ エ ピ ペ ン 投 与	0	0	0	0	0
血 圧 測 定	3,016	210	703	1,315	5,244
聴 診 器	1,096	87	130	196	1,509
血中酸素飽和度測定	3,114	212	723	1,355	5,404
心 電 図	2,332	82	263	600	3,277
そ の 他 の 応 急 処 置	3,090	208	717	1,309	5,324
計	14,311	1,014	2,982	5,316	23,623

(注) ☆は、救急救命処置

【全救急救命士】(48名)

令和7年3月現在

○薬剤投与認定者(46名)

○気管挿管認定者(31名)

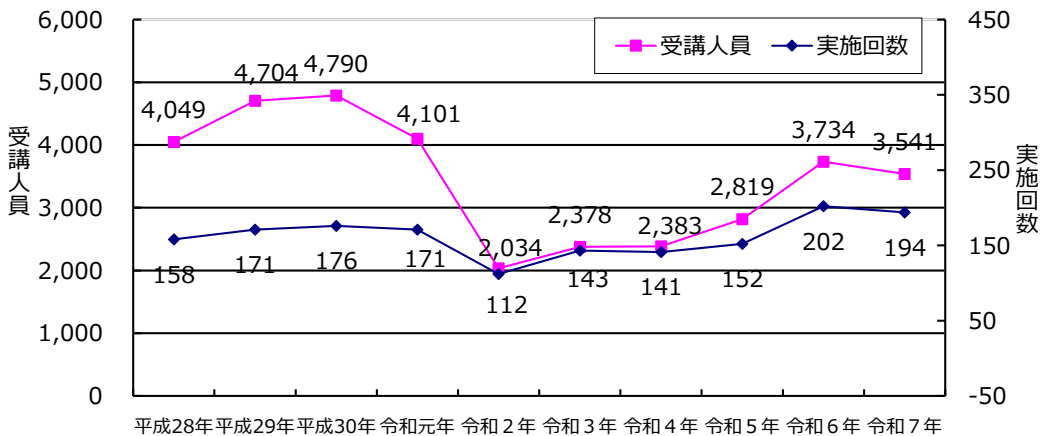
○新処置拡大認定者(40名)

○指導救命士(7名)

※認定資格については、個人で重複します。

7 応急手当の普及啓発

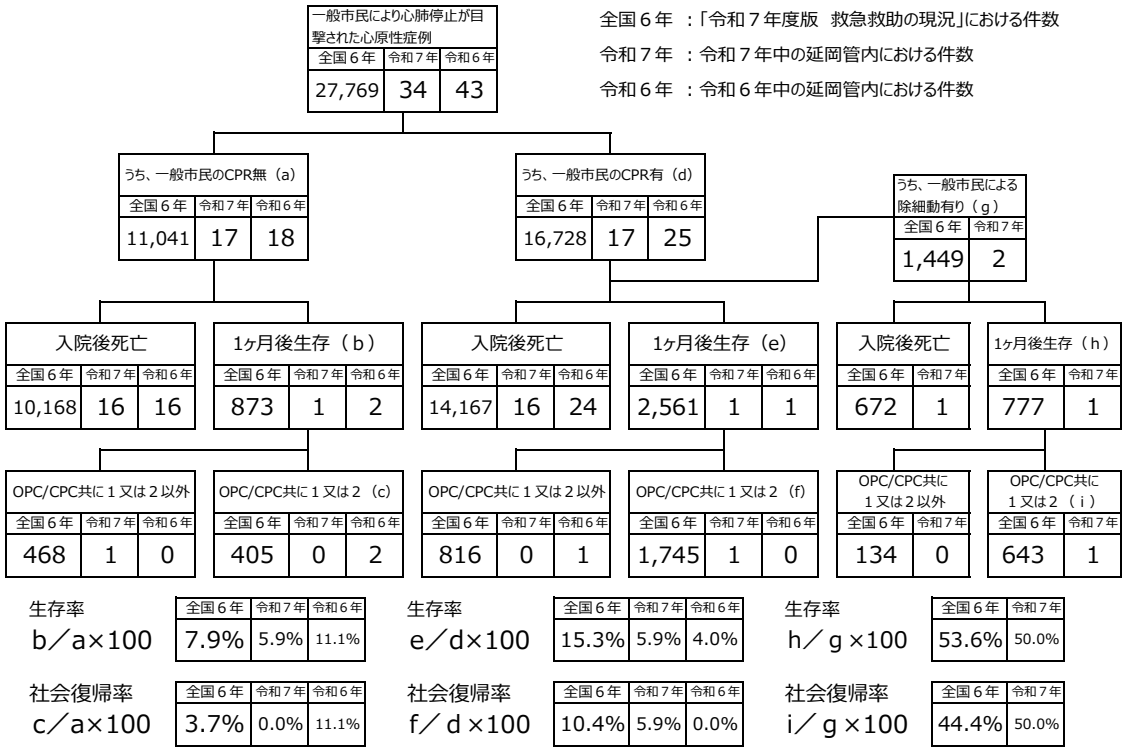
(1) 応急手当講習の実施状況



	対象者	実施回数	人員
救急入門コース	一般市民	151	2,901
普通救命講習Ⅰ	一般市民	41	633
上級救命講習	一般市民	1	6
普及員講習	一般市民	1	1
合計		194	3,541

(2) 救急蘇生統計

令和7年中の搬送人員における心肺停止患者の総数は127名で、3名が社会復帰をされました。下記の表は、心肺停止が目撃された心原性症例の社会復帰率となっています。(心原性:心臓が原因による心肺停止)



※社会復帰率 脳神経カテゴリー(CPC)、全身機能カテゴリー(OPC)が共に1又は2であった者の占める比率

◎脳神経カテゴリー(CPC)

①CPC1:機能良好 意識は清明、普通の生活・労働が可能。

②CPC2:中等度障害 意識あり。介助なしに着替え、炊事などの日常生活可能。

③CPC3:高度障害 意識あり。日常生活に介助を要する。

④CPC4:昏睡 昏睡、植物状態。意識レベルは低下。

⑤CPC5:死亡、若しくは脳死。

◎全身機能カテゴリー(OPC)

①OPC1:機能良好 健康で意識清明。正常な生活を営む。

②OPC2:中等度障害 意識あり。介助なしに着替え、炊事などの日常生活可能。

③OPC3:高度障害 意識あり。日常生活に介助を要する。

④OPC4:昏睡 昏睡、植物状態。意識レベルは低下。

⑤OPC5:死亡、若しくは脳死。

8 医療機関等への搬送状況

(1) 医療機関別搬送人員

		救急告示医療機関	その他の医療機関	合 計
国	立	36	0	36
公	立	2,470	0	2,470
公	的	26	0	26
私	病 院	1,300	435	1,735
	診 療 所	68	1,222	1,290
その他の場所		0	2	2
計		3,900	1,659	5,559

(注) 救急告示医療機関

- (1) 国 立 : 宮崎大学医学部附属病院・国立宮崎病院・国立宮崎東病院・大分大学医学部附属病院など
(2) 公 立 : 県立宮崎病院・県立延岡病院・熊本赤十字病院など
(3) 公 的 : 日向病院(門川町)など
(4) 私的病院 : 黒木病院・延岡共立病院・延岡市医師会病院・平田東九州病院
千代田病院(日向市)・和田病院(日向市)
宮崎市郡医師会病院(宮崎市)・社会保険宮崎江南病院(宮崎市)など
(5) 私的診療所: おがわクリニック あたご整形外科

(2) 診療科別搬送人員

	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
内 科	2,070	2,152	1,913	1,736	1,518
循 環 器 内 科	216	110	62	71	59
外 科	641	558	554	494	413
整 形 外 科	787	740	696	678	614
脳 外 科	262	206	219	186	239
神 経 内 科	2	10	7	2	4
心 臓 外 科	10	11	3	2	2
小 児 科	125	111	138	86	92
産 婦 人 科	127	114	105	121	134
泌 尿 器 科	95	88	85	103	77
耳 鼻 科	6	7	15	12	17
精 神 科	13	31	40	42	37
皮 膚 科	14	28	9	3	10
救急科・麻酔科	859	1,215	1,631	2,064	2,016
眼 科	3	1	3	4	6
総 合 診 療 科	280	161	0	0	0
麻 酔 科	23	27	0	0	0
そ の 他	24	38	8	18	12
そ の 他 の 場 所	2	1	3	10	1
計	5,559	5,609	5,491	5,632	5,251

(3) 病院別搬送人員

※ 管轄内搬送人員 15 件以上の医療機関名等を掲載

あたご整形外科	155
大貫診療所	18
大崎整形外科	36
岡村病院	86
おがわクリニック	57
甲斐整形外科	31
延岡共立病院	537
黒木病院	203
県立延岡病院	2,440
県立延岡病院ドクターカー	19
桜ヶ丘ファミリークリニック	63
杉本病院	106
早田病院	89
谷村病院	111
桜小路クリニック	20
延岡市医師会病院	121
延岡市夜間急病センター	402
延岡整形外科医院	58
延岡リハビリテーション病院	23
野村クリニック	18
平田東九州病院	421
平野消化器科	17
みぞくち医院	33
みやた内科医院	25
宮本整形外科医院	23
やなざわ整形外科・内科	16
いのうえ整形外科クリニック	16

米田脳神経外科	47
くもん整形外科	20
その他の医療機関（管内）	249
その他の場所（管内）	2
計（管轄内）	5,462

大平整形外科リウマチ科	1
日之影町国民健康保険病院	2
国見ヶ丘病院	1
高千穂町国民健康保険病院	3
田中病院	3
宮崎済生会日向病院	24
協和病院	1
千代田病院	10
和田病院	5
美郷町国民健康保険西郷病院	2
都農町国保病院	1
県立宮崎病院	5
宮崎大学医学部附属病院	32
大分大学医学部附属病院	1
宮崎大学ドクターヘリ	2
お倉が浜kidsクリニック	1
宮崎市郡医師会病院	3
計（管轄外）	97

総 計	5,559
------------	--------------

(4) 不搬送の原因別出場状況

原 因	令和7年	令和6年	増 減	構成比
辞退（到着前）	15	18	▲ 3	1.3%
辞退（到着後）	844	829	15	75.4%
拒 否	41	38	3	3.7%
明らかな死亡	136	134	2	12.1%
他車（隊）搬送	10	7	3	0.9%
傷 病 者 な し	17	35	▲ 18	1.5%
誤報・いたづら	10	6	4	0.9%
そ の 他	47	40	7	4.2%
合 計	1,120	1,107	13	100%

※不搬送状況は、「辞退(到着後)」が76%、次いで「明らかな死亡」が約10%です。

(5) 病院問合せ平均回数

	回 数
令和7年	1.57回
令和6年	1.42回
令和5年	1.63回
令和4年	1.57回
令和3年	1.45回
令和2年	1.48回
平成元年	1.40回
平成30年	1.30回
平成29年	1.27回

※全搬送件数の平均値を算出したもの。

(6) 救急支援（P A連携）出場状況

	C P A	高層階	繁華街	加 害	防災ヘリ	ドクヘリ	高速道	交通事故	その他	計
1月	42	23	9	1	0	0	1	4	9	89
2月	28	14	7	1	0	0	1	1	14	66
3月	28	16	10	1	2	0	0	7	13	77
4月	27	8	5	1	0	0	0	6	19	66
5月	22	9	8	1	0	0	2	3	11	56
6月	36	9	3	2	0	0	2	7	8	67
7月	35	12	9	1	0	0	2	3	1	63
8月	35	15	8	3	0	0	4	3	11	79
9月	34	14	3	0	0	0	0	8	10	69
10月	38	8	6	1	0	0	1	3	13	70
11月	67	12	8	0	0	0	0	4	14	105
12月	50	9	15	1	0	0	0	5	11	91
計	442	149	91	13	2	0	13	54	134	898

※ その他の内訳は、救急隊のみでは活動困難な場合等となります。

(7) ドクターヘリ活動状況

令和6年ドクターヘリ消防別(管轄内)要請件数

機関名/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
宮崎市消防局	1	0	3	3	3	1	2	2	3	1	4	1	24
都城市消防局	4	4	5	3	0	2	1	3	3	1	3	2	31
延岡市消防本部	3	7	4	2	2	3	2	1	1	3	4	5	37
日南市消防本部	3	1	1	0	3	0	3	3	4	4	0	2	24
日向市消防本部	2	3	4	8	3	5	5	3	5	3	7	6	54
串間市消防本部	3	4	6	0	4	0	4	3	4	2	0	3	33
西都市消防本部	2	3	2	0	2	1	0	3	0	3	5	0	21
東児湯消防本部	4	3	7	3	6	5	3	9	3	5	5	8	61
西諸広域消防本部	8	13	6	3	6	6	2	2	7	4	7	4	68
西米良村	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
諸塚村	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
椎葉村	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	6
椎葉村(上球磨消防署)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美郷町	0	2	1	1	0	0	2	2	1	4	5	3	21
西臼杵消防本部	12	6	4	4	5	9	5	8	2	10	8	8	81
宮崎大学医学部附属病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県DMAT調整本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大隅曽於地区消防本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	44	48	43	27	34	33	30	40	33	41	49	43	465

延岡市消防本部管轄における運航実績(病院間搬送含む)

	要請件数	現場出動	転院搬送	飛行前 キャンセル	飛行後 キャンセル	その他
1月	3	0	3	0	0	0
2月	7	0	6	0	1	0
3月	4	0	4	0	0	0
4月	2	1	1	0	0	0
5月	2	2	0	0	0	0
6月	3	0	0	0	3	0
7月	2	0	2	0	0	0
8月	1	0	1	0	0	0
9月	1	0	1	0	0	0
10月	3	0	2	0	1	0
11月	4	0	4	0	0	0
12月	5	0	5	0	0	0
計	37	3	29	0	5	0

(8) ドクターカー活動状況

平成30年4月18日から、宮崎県立延岡病院と連携してドクターカー(ピックアップ方式)の運用をしていましたが、令和3年4月19日より宮崎県立延岡病院に救急車型のドクターカーが配備され運用が始まりました。これにより、ドクターカーの現場到着時間短縮が図られるとともに、救急現場で重症傷病者に対する早期の医療介入が可能となりました。また、傷病者を搬送することも可能なため、救急隊は次の出動に早期に備えることができ、大きなメリットとなっています。

令和7年のドクターカー要請件数は104件、そのうち98件に出動しております。

県立延岡病院ドクターカー出場状況

延岡市消防本部要請 出動状況(令和7年1月1日～12月31日)

	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				キ ャ ン セ ル 出 動 前	合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他		
1月	0	0	0	1	1	0	0	0	1	4	1	0	0	0	1	9
2月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	7
3月	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
4月	0	0	0	2	0	0	2	0	0	6	0	0	0	0	0	10
5月	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	6
6月	0	0	0	4	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3	12
7月	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	7
8月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	8
9月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	7
10月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	5
11月	0	0	0	2	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	11
12月	0	0	0	3	1	0	2	0	0	12	0	0	0	0	0	18
	0	0	1	15	8	0	6	0	2	60	5	0	0	1	6	104

第3章 令和7年の救助活動概要

令和7年の救助件数は、昨年と比較すると横ばいに推移しており、出場件数82件(1件減)救助活動件数54件(5件減)、救助人員56人(7人減)であった。

第1表 救助出場・活動件数及び救助人員の推移

	救助出場件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率(%)	件数	対前年増減率(%)	人員	対前年増減率(%)
令和2年	74	-14.0%	47	4.4%	50	4.2%
令和3年	44	-40.5%	34	-27.7%	36	-28.0%
令和4年	77	75.0%	52	52.9%	57	58.3%
令和5年	71	-7.8%	49	-5.8%	54	-5.3%
令和6年	83	16.9%	59	20.4%	63	16.7%
令和7年	82	-1.2%	54	-8.5%	56	-11.1%

第4章 令和7年の救助活動状況

1 事故種別ごとの救助出場件数及び救助人員

事故種別の救助出場件数をみると、建物事故の発生割合が最も多い。次いで、その他の事故、交通事故が多く、例年同様上記3種別が発生件数の大半を占めている。

救助人員については、建物事故が22人(39.3%)と占める割合が多く、次いで、その他の事故が16人(28.6%)、交通事故が10人(17.9%)の順となっている。

第2表 事故種別ごとの救助活動状況

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
救助出動件数	1	12	7	0	2	36	0	0	24	82
救助活動 有り	1	8	5	0	2	22	0	0	16	54
救助活動 無し※	0	4	2	0	0	14	0	0	8	28
救助人員	1	10	5	0	2	22	0	0	16	56

※「救助活動 無し」には、途中帰署を含む。

○事故種別は、次により区分している。

「火災」とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

「交通事故」とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

「水難事故」とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

「自然災害」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

「機械による事故」とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

「建物事故」とは、建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

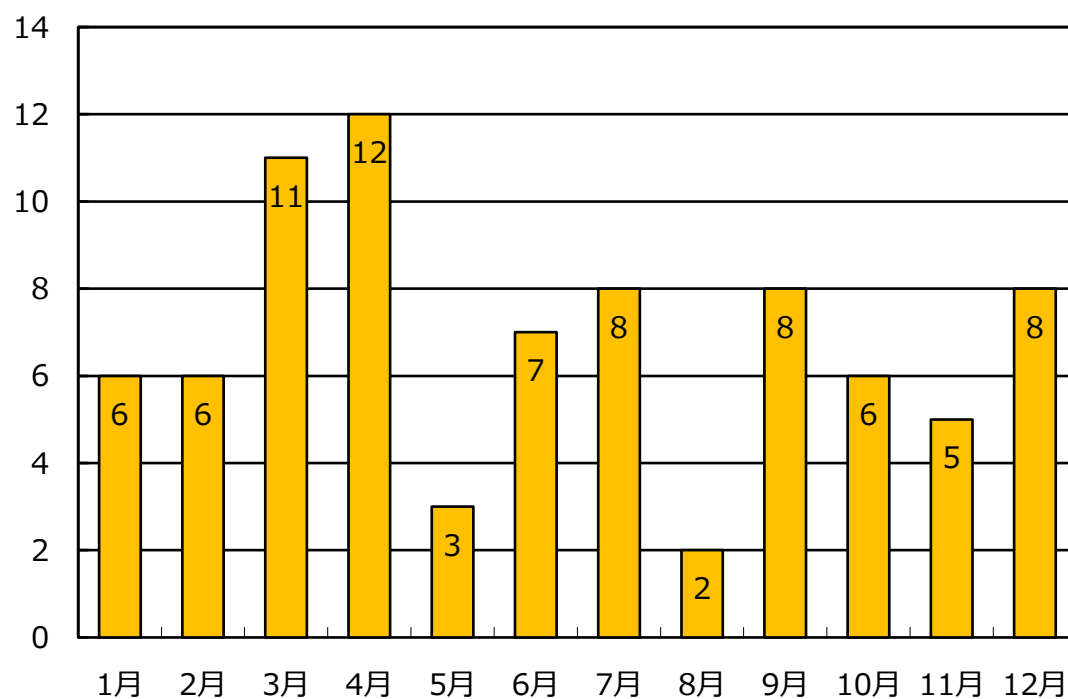
「ガス及び酸欠事故」とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

「破裂事故」とは、火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

「その他の事故」とは、上記に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

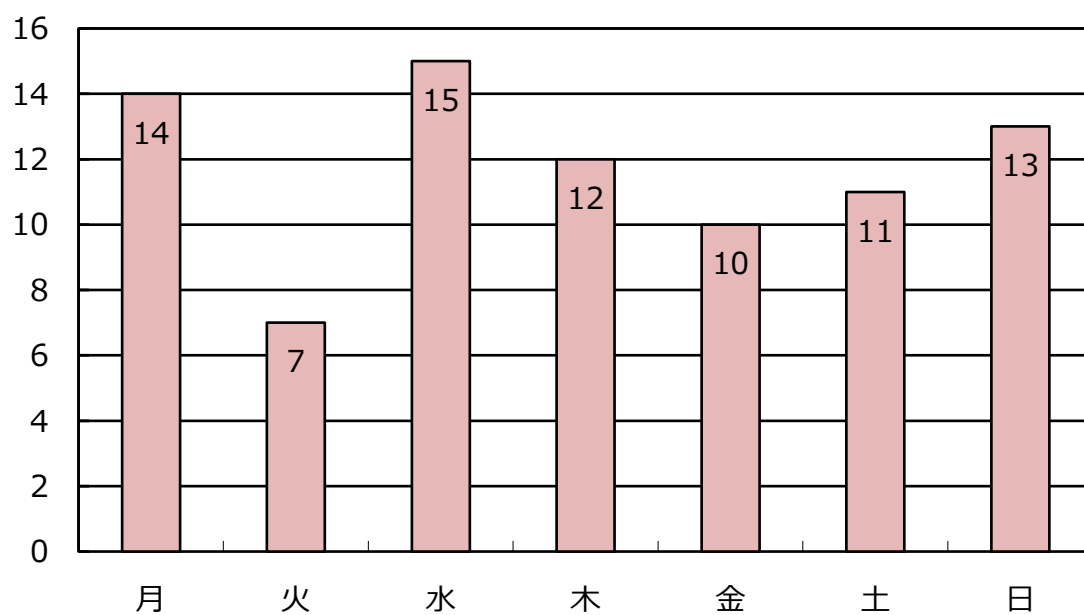
2 月別の救助出場件数

救助出場を月別に見ると、4月12件、次いで3月が11件と多かった。



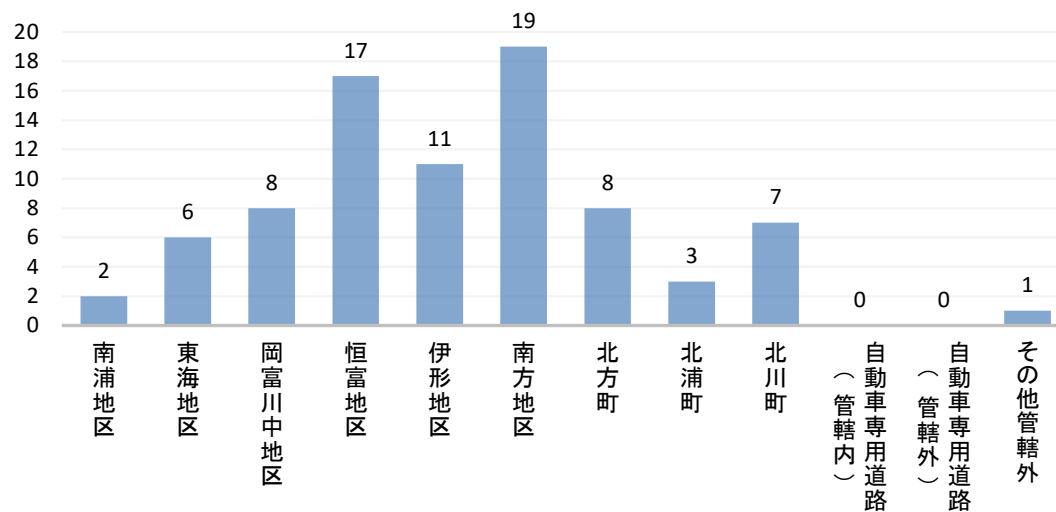
3 曜日別の救助出場件数

水曜日が最多の15件、次いで月曜日が14件、最少が火曜日の7件であった。



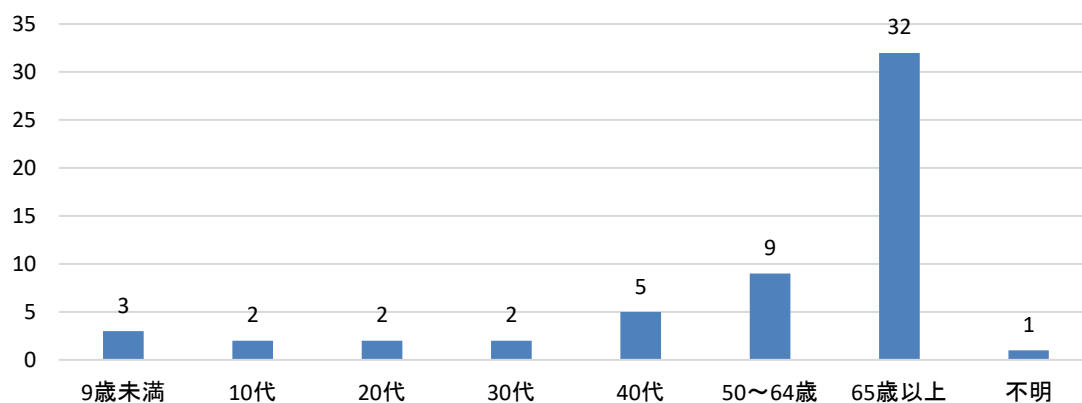
4 地区別の事故種別救助出場件数

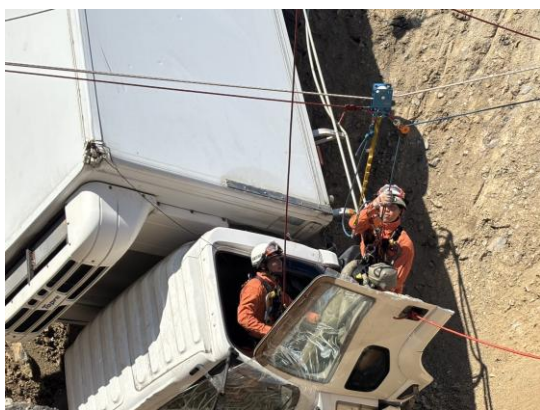
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	酸ガス及び 欠事故	破裂事故	その他	計
南	浦地区		1							1	2
東	海地区			1		1	2			2	6
岡	富・川中地区						7			1	8
恒	富地区		3				11			3	17
伊	形地区		2	2			5			2	11
南	方地区	1	4	1			9			4	19
北	方町			1		1	1			5	8
北	浦町		1	1						1	3
北	川町		1	1			1			4	7
自動車 専用道路	管轄内										0
	管轄外										0
その他管轄外										1	1
合 計		1	12	7	0	2	36	0	0	24	82



5 年齢別の要救助者数

要救助者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が32人で、全救助者数56人のうち、およそ57.1%を占めている。



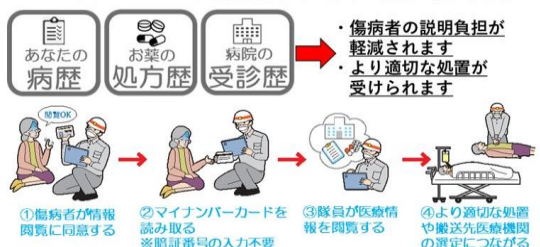


道路陥没事故対応救助訓練(協力:ジャパンレッカー事業協力会)



マイナ救急とは・・・
救急隊員が傷病者のマイナ保険証(健康保険証として利用登録したマイナンバーカード)を活用し、傷病者の医療情報等を閲覧する仕組みのことです。

★マイナンバーカードを見せるだけで以下の情報が伝わります



FDMA 総務省消防庁★延岡市消防本部

※マイナンバーの提示を拒否されても、傷病者の不利益になることはありません。

お問い合わせ
延岡市消防本部 警防課
TEL: 0982-22-7105

あなたの命を守る マイナ救急

令和7年10月1日(水)より全国一斉開始

救急車利用時に、救急隊よりマイナ保険証の
提示を求められる場合があります。
市民の皆様のご協力をお願いします。



マイナ救急の流れ ～通報から病院搬送まで～



マイナ保険証の準備はお済みでしょうか?

令和7年12月2日(火)より健康保険証の新規発行は
されなくなり、マイナンバーカードと一体化した「マイ
ナ保険証」が基本となります。



詳しい内容はQRコードをチェック!
(東京消防庁ホームページ)

問合せ先 延岡市消防本部警防課
電話番号 0982-22-7105

※マイナ保険証の提示は強制ではありません。提示しなかったからといって、不利益になることはありません。

令和7年10月より開始された「マイナ救急」実証事業普及用チラシ